

発行 NPO法人まほうのらんぷ
連絡先 豊田市上原町上原6-7
TEL 0565-42-2221



ホームページ <http://mahounolamp.gozaru.jp/>
ブログ <http://mahoulamp.boon-log.com/>

2年目突入!! 地域活動支援センターはたらくば、利用者8名に!!

平成10年に活動を開始し、親の会として活動をしてきたまほうのらんぷが、障がい者の働く場や住まいの場を確保するために平成21年にNPO法人化。そして翌年22年に開所した地域活動支援センターはたらくばも2年目に突入しました。利用者も開所当初は5名でしたが現在は8名、また養護学校(特別支援学校)に通いながら、休日に実習に来る4名の利用会員で仕事を頑張っています。職員も常勤2名。パート3名体制で、日々の仕事だけでなく、仕事をするには健康管理も大切と、毎日の体重チェックと体操教室で健康管理を促したり、働くことは生活の一部と捉え、生活支援・相談支援も力を入れています。

利用者増員により様々な課題はありますが、これからたくさんの「働きたい」という思いをサポートするために、常に前向きに進んでいきたいと思えます。



地域活動支援センターはたらくばの一日

- 9:00～ 出勤
- 9:30～ 朝礼
仕事 ・ホール掃除
・仕込み
・地域清掃
・他拠点への移動
- 11:30～ Café Musu.B開店
昼休憩(時間差)
- 15:30～ 終礼
・個人目標のチェック
・全体の反省
・連絡事項
- 15:40～ 退勤
※残業時はそのまま仕事

NPO法人まほうのらんぷは、まずは障がい者の『働きたい』を応援します。次に親が高齢になっても安心して生活ができるように、ケアホームなどの設立に向けて活動を展開します。そして、障がいの有無に関わらず、子どもからお年寄りまでが住みなれた地域で生活できるように、暮らしやすいまちづくりを目指しています。

被災地に行かなくてもできることはある!!

被災地の障がい者施設で作った食品や雑貨を販売してます。

地域活動支援センターはたらくばのメイン事業であるCafé Musu. Bでは、東日本大震災で被災した障がい者を支援しようという「ミナDEカオウヤ」に賛同して、被災地の福祉事業所などで作られた食品や雑貨の販売しています。東日本大震災以後、自分たちに出来ることはないかと考え、義援金や被災した障がい児・者に対する支援金の活動に参加したり救援物資を送ってきたりしました。今後は一過性で無く、継続的に関われる活動の続け、被災した障がい児・者を支援できる手段を考えていきます。

月刊

2011年(平成23年)7月19日(火曜日)

東北地方の授産施設が作った品々を並べたコーナー
―豊田市上原町のカフェ・Musu・Bで



障がい者の働く場 守れ

障がい者の雇用のある豊田市上原町のカフェ・Musu・B(ムスビー)で18日、東日本大震災の被災地の障がい者が作った商品の販売を始めた。震災で仕事や販売先をなくした授産施設を支援する狙い。当初は宮城や岩手、青森各県の施設から届いたりんごジュースなど四種類を扱い、順次種類を増やしていく。(日比野雅彦)

豊田のカフェ

仙台市青葉区の施設ひとめぼれで作ったからはコンピュータポン菓子、岩手県宮一でデザインしたポスト古市からは自家焙煎トカードや、地元産米のコーヒーが届いた。

被災授産施設の 商品を並べ販売

果物や郵便カードなど扱う

別に十カ所近い施設にも発注しており、クッキーやドーナツ、雑貨を加えている。

店を運営するNPO法人理事長の谷沢雄樹さん(三三)が、大阪発の被災地障がい者の支援プロジェクト「ミナDEカオウヤ」に賛同し、常設での販売を決めた。仕事など失った授産施設を、全国から商品を注文して支援する。

谷沢さんは「障がい者の作った商品を流通させるといった新しい発想で、作る側と売る側の双方が活性化される」と話す。

ムスビーの営業は月―土曜の午前十一時半―午後六時。商品販売は午前九時半から。(同店)電話0565(42)2221

中日新聞掲載
平成23年7月19日

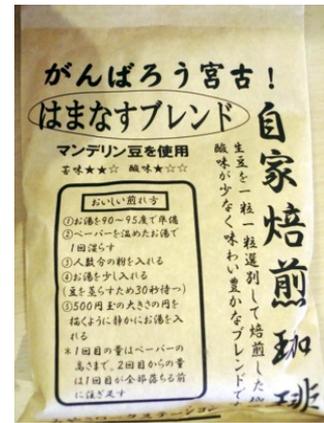
好評販売中!!



仙台のご当地グルメ
あぶら麩 400円



東北の米「ひとめぼれ」使用
塩ごまポン・えびぽん 各400円



酸味が少ない豊かなブレンド
自家焙煎珈琲 450円



とってもキュートなイラスト
ポストカード 100円



各事業所オリジナルクッキー
100円～300円



青森産りんご ストレート果汁
りんごジュース 1本150円



まゆだまで作ったかわいいだるま
復興だるま 1個600円



米袋を加工した素敵な小物
クラフトパーツ
かざぐるま 各種100円

その他、焼きドーナツ、さをりストラップなど様々な商品を取り揃えています。また交流館祭や各イベントでの出店の際には、その日限りの限定商品も仕入れながら販売していきます。9月下旬から様々な場所で販売していきますのでよろしくお願いいたします。

- 10月 2日(日) 上郷交流館祭
- 10月16日(日) 藤岡ボランティアまつり
- 10月22日(土) とよた市民活動センター10周年記念イベント
- 10月30日(日) オンラインイベント
前林交流館祭
さくらの杜イベント

- 11月 6日(日) 梅坪台交流館祭
- 11月19日(土) 豊田養護学校
20日(日) 豊田養護学校
- 12月11日(日) 福祉健康フェスティバル

「地域と共に… 夏まつりによっといでん」を開催しました。

7月28日(木)にNPO法人ほっとほーむよっといでん(豊田市西山町)の拠点をお借りして、豊田工業高等専門学校(以下、豊田高専)の加藤先生や学生と連携し企画した夏まつりを開催しました。

地域住民との交流を深めることと、市民活動団体同士のネットワークを深めることを目的に障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まで楽しめる企画になりました。

心配された天気も問題なく、来客数約100名、スタッフ・関係者も含めると約150名のイベントになりました。



「夏休み真っ最中の小学生 よっといでん」
豊田高専の学生たちによるモーター作り
夏休みの宿題として頑張っていました。



「子育て真っ最中のママ・パパよっといでん」
NPO法人ナースリーハウスの西田さんが丁寧
に聞きながら、素敵なアドバイスをしていました



賛助会員さんを募集してます！

賛助会費が運営には不可欠です。賛助会員に入会しご支援ください。会員様には広報紙など活動内容を随時お伝えします。

■ 年会費1口 1,000円(何口でも構いません)

振込先 豊田信用金庫 本店 普通口座9045785

特定非営利活動法人まほうのらんぷ 理事谷澤雄樹

(とくていひえいりかつどうほうじん まほうのらんぷ りじたにざわゆうき)

この用紙はジャスコ豊田店のイエローレシートキャンペーンでいただいたものです。
NPO法人まほうのらんぷは、イオン幸せのイエローレシートキャンペーンをジャスコ豊田店で参加しています。毎月11日に発行される黄色いレシートは、ぜひまほうのらんぷのBOXIにお願いします。